～介護施設・事業所における虐待防止研修～

プログラムの使い方

はじめに

高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律（以下、「高齢者虐待防止法」と示す）は、介護保険制度の普及、活用が進む中、高齢者に対する、虐待行為が表面化し、社会問題になったことから、2006年4月に施行されました。しかし、高齢者虐待防止法施行後も、高齢者虐待の件数は年々、増加傾向にあります。養介護施設従事者による虐待の発生要因としては、「教育・知識・介護技術に関する問題」が最も多くあげられており、施設・事業所において、虐待防止に関する教育の重要性が注目されています。高齢者の人権の擁護、虐待防止等の基本的な知識の学びに加え、養介護施設従事者が考えていることや感じていることを共有し、施設・事業所で取り組んでいる対策等を振り返り、改善する必要があります。

本研修プログラムは、動画を視聴いただき、高齢者虐待の類型や防止対策、法律などの基礎知識を学んでいただく【Step１】 とグループワークにより、自らの行為を振り返りながら、自施設・事業所の虐待防止の取り組みについて検討していただく【Step２】 の2部構成になっています。養介護施設従事者は、年齢、性別、経験、国籍等様々な方々で構成されることが多いこと、また、業務が多忙で集合での研修時間が確保しづらいこと等を鑑み、 【Step１】では個人でいつでも学べ、繰り返し学習できる環境を提供できるよう準備しました。各自が基礎知識拡充後【Step２】で、集合型事例演習を実施することで、他者の考え方や気づきを共有し、多角的な視点を持ち、自施設・事業所の高齢者虐待の取り組みについて主体的に考え、行動できることを目指しています。

本研修プログラムは、老人福祉法および介護保険法に定める施設・事業所の従事者（養介護施設従事者等）への高齢者虐待の防止の教育活動の取り組みのために開発されたものです。本研修プログラムが、多くの施設・事業者の虐待防止研修に活用いただけることを願います。

令和３年３月

プログラムの使い方（基本事項）

- 本研修プログラムは、動画を視聴いただき、高齢者虐待の類型や防止対策、法律などの基礎知識を学んでいただく【Step１】 とグループワークにより、自らの行為を振り返りながら、自施設・事業所の虐待防止の取り組みについて検討していただく【Step２】 の2部構成になっています。
- 本資料には、以下の各資料様式と使用方法などについて記載してあります。

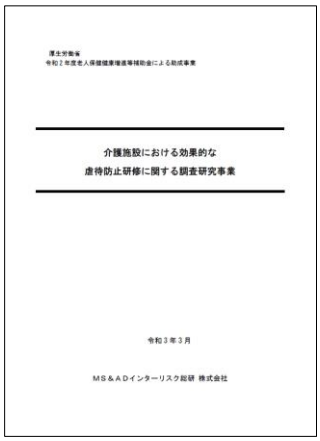
プログラムの使い方　本資料

【 Step1 】	【 Step2 】
学習者用教材 学習者用視聴動画 【A】【B】	
研修担当者及び司会者用教材 学習者用配布資料 学習者用資料 確認テスト＜問題＞ 確認テスト【解答】	演習シート① 演習シート② 解説シート
	研修担当者及び司会者用教材 演習用資料 演習用スライド 集合型事例演習の進め方

- 本研修は、「高齢者虐待防止法第20条」 「平成30年度省令改訂・身体拘束禁止規定」「令和3年度省令改訂・虐待防止規程」において求められる研修を満たすことを想定して作成しています。

- ご案内したURLの本資料をご参照いただきながら、研修実施に必要な資料を確認し、ダウンロードまたは、ご視聴下さい。

2020年



令和2年度　厚労省老人保健健康等増進事業
介護施設における効果的な虐待防止研修に関する調査研究

報告書ダウンロード（3.7MB）

虐待防止研修担当の方はこちらを
最初にご確認ください

ダウンロード（1.5MB）

研修担当及び司会者用資料はこちら＞

学習者用資料

学習者用視聴動画【A】はこちら＞

学習者用視聴動画【B】はこちら＞

プログラムの使い方（基本事項）

■ 虐待防止研修プログラムは、それぞれ以下の資料をホームページに格納していますので、ご活用下さい。

研修担当及び司会者用資料はこちら＞ の中には、

【Step１】学習者用資料
【Step１】確認テスト＜問題＞
【Step１】確認テスト【解答】

【Step２】事例演習の進め方
※事例ごとに5つの資料が格納されています。

【Step２】事例演習の進め方
- 01_【Step２】集合型事例演習の進め方
- 02_演習用スライド
- 03_演習シート①
- 04_演習シート②
- 05_解説シート

学習者用視聴動画【A】はこちら＞
学習者用視聴動画【B】はこちら＞ に中には、

【Step１】視聴動画

全学習者視聴テーマ

No	テーマ
1	虐待とは？
2	高齢者虐待防止法
3	要介護施設・養介護事業における高齢者虐待の防止・対策
4	身体拘束
5	早期発見と通報義務
18	ストレスケア

選択視聴テーマ

【A】	【B】	テーマ
6	12	身体的虐待（１）
7	13	身体的虐待（２）
8	14	介護・世話の放棄・放任
9	15	心理的虐待
10	16	性的虐待
11	17	経済的虐待

※【A】または【B】を選択し視聴して下さい

研修担当及び司会者用資料

学習者用配布資料【Step 1 】

＜学習者配布用資料＞

【Step１】学習者用資料

- 学習者用資料は、【Step１】動画視聴前に印刷し、学習者へ配布してください。
- 以下の格納先より、ダウンロードしてください。
- 動画の内容を簡潔にまとめてありますので、動画視聴時にご活用ください。
- 巻末には、参考資料として「5分でできる職場のストレスセルフチェック」のURLと高齢者虐待「自己点検シート（チェックリスト）」を掲載しております。ご活用ください。

2020年

令和2年度　厚労省老人保健健康等増進事業
介護施設における効果的な虐待防止研修に関する調査研究

報告書ダウンロード（3.7MB）

虐待防止研修担当の方はこちらを
最初にご確認ください

ダウンロード（1.5MB）

研修担当及び司会者用資料はこちら＞

学習者用資料

学習者用視聴動画【A】はこちら＞

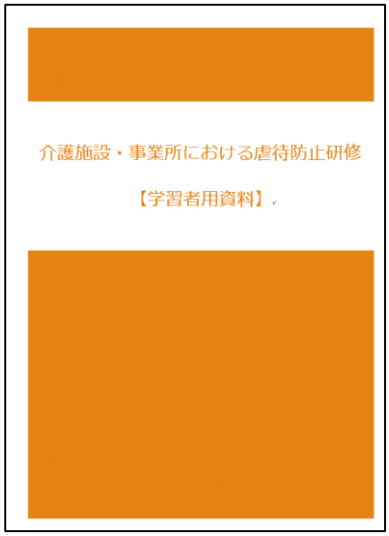
学習者用視聴動画【B】はこちら＞

名前

- 【Step１】
- 【Step２】事例演習の進め方　A トイレ介助
- 【Step２】事例演習の進め方　B 不眠時の対応
- 【Step２】事例演習の進め方　C 失禁時の対応
- 【Step２】事例演習の進め方　D 帰宅願望の強い高齢者の対応
- 【Step２】事例演習の進め方　E オムツ交換
- 【Step２】事例演習の進め方　F 高齢者の財産
- 【Step２】事例演習の進め方　G 車いすでの過ごし方

名前

- 【Step１】01_学習者用資料.pdf
- 【Step１】02_確認テスト＜問題＞.pdf
- 【Step１】03_確認テスト【解答】.pdf

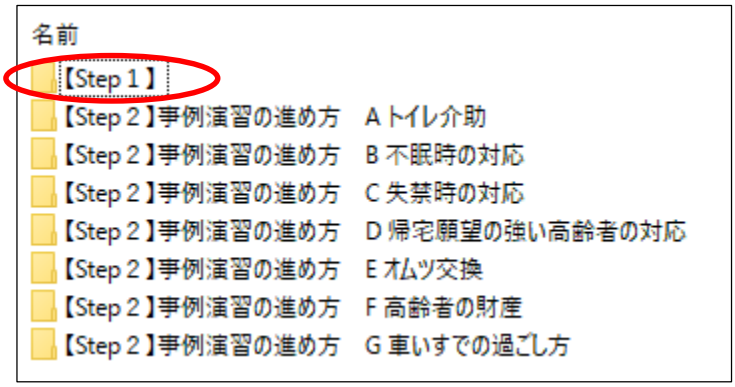


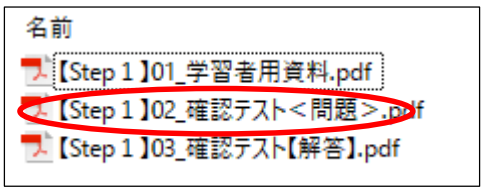
＜学習者配布用資料＞

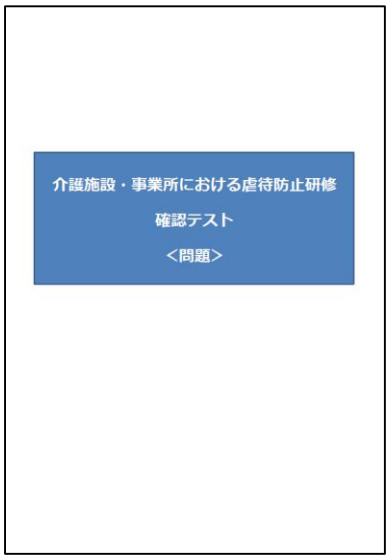
【Step１】確認テスト＜問題＞

- 確認テストは、【Step１】研修の動画視聴を確認する目的で、作成しております。
- 【Step１】動画視聴前に印刷し、学習者へ配布してください。
- 本資料の巻頭には、視聴動画の受講確認表を付けてあります。適宜ご活用ください。
- 研修実施担当者は適宜回収する等し、学習者の受講管理に役立てることもできます。
- 動画視聴後、同じタイトルの確認テストを実施するよう指示してください。
- 解答は、「研修担当者及び司会者用教材」にあります。確認テストの解答、解説は、施設で実施しやすい方法を検討、実施して下さい。

研修担当及び司会者用資料はこちら＞





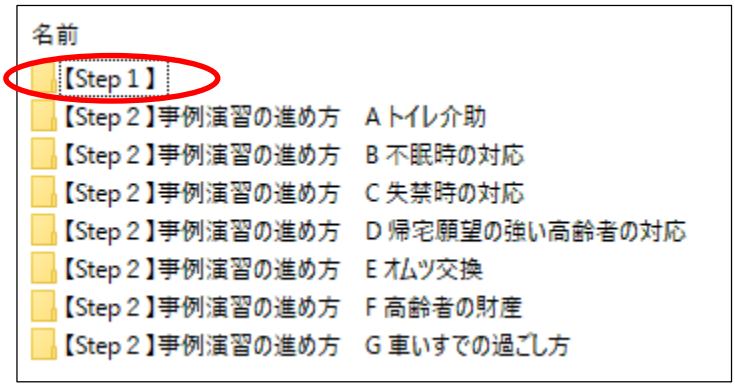


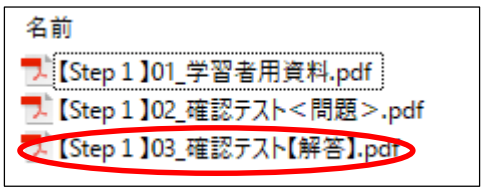
＜学習者配布用資料＞

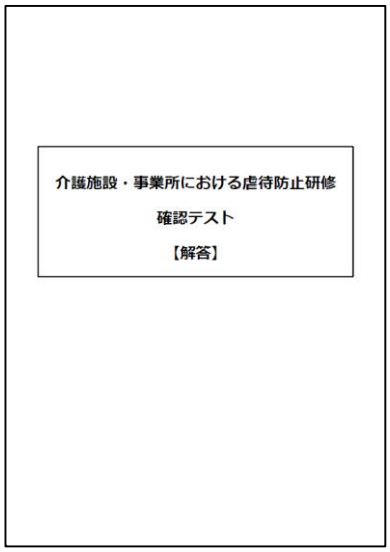
【Step１】確認テスト【解答】

- 確認テストの解答及び解説を記載している資料です。
- 確認テストの解答、解説方法は、施設で実施しやすい方法を検討、実施して下さい。
  例①：1動画視聴ごとに確認テストを実施し、研修担当へ提出、研修担当者が採点後、解説と一緒に返却。
  例②：動画視聴後、確認テストが終了したら、解答集を配布。等

研修担当及び司会者用資料はこちら＞







研修担当及び司会者用資料

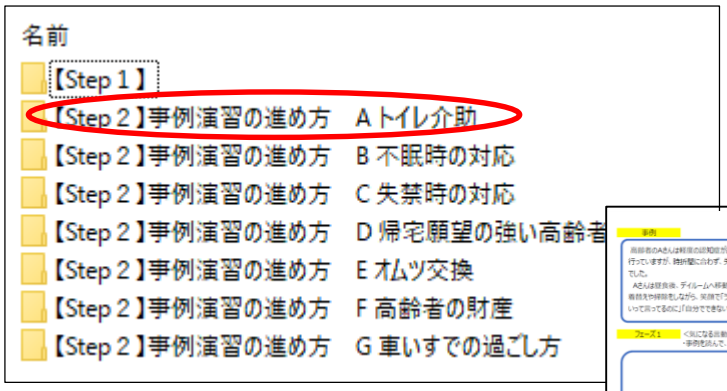
学習用配布資料【Step 2 】

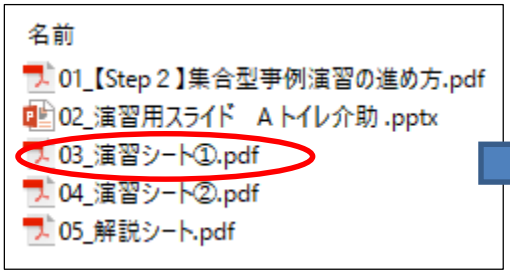
＜学習者配布用資料＞

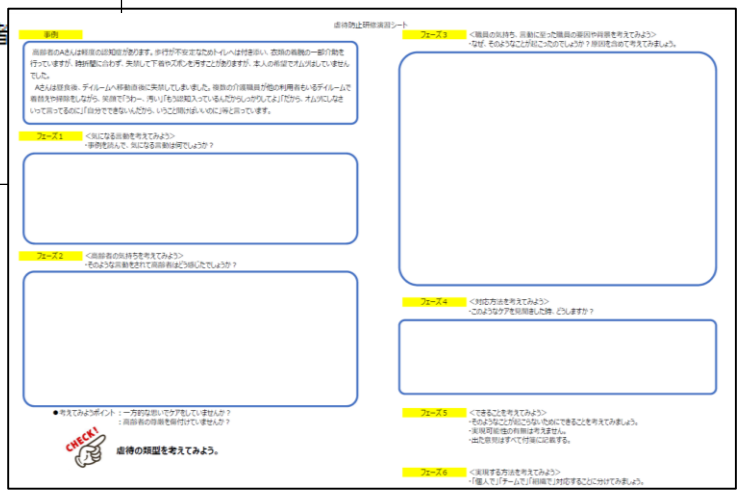
【Step２】演習シート①

- 事例ごとに７種類の演習シート①を用意しています。
- 事例を1つ選択し、演習シート①を印刷、学習者に配布してください。また、グループワーク時の記録用に各グループに1枚ずつご用意ください。
- 印刷の推奨サイズはA３です。A４に印刷される場合は、2枚に印刷してください。

研修担当及び司会者用資料はこちら＞






虐待防止研修演習シート

事例

高齢者のAさんは軽度の認知症が進行します。歩行が不安定なためトイレへは付き添い、夜間の排泄の一部介助を行っていますが、時折間に合わず、失禁して下着やズボンを汚すことがありますが、本人の希望でオムツはしていませんでした。

Aさんは昼食後、デイルームへ移動途中に失禁してしまいました。職員の介護職員が他の利用者もいるデイルームで尊厳を傷付けないよう、「ちょっとトイレに行きましょう」と誘導しようとしたところ、Aさんは「だから、オムツにしなさいって言ってるのに！自分でできないんだから、いうこと聞けばいいのに！」と怒っています。

フェーズ１　<気になる言動を考えてみよう>
・事例を読んで、気になる言動は何でしょうか？

フェーズ２　<高齢者の気持ちを考えてみよう>
・そのような言動をされて高齢者はどう感じたでしょうか？

●考えてみようポイント：一方的な思いでケアをしていませんか？
：高齢者の尊厳を保付けていませんか？

CHECK!

虐待の類型を考えてみよう。

フェーズ３　<職員の気持ち、言動に至った職員の要因や背景を考えてみよう>
・なぜ、そのようなことが起こったのでしょうか？原因究明して考えてみましょう。

フェーズ４　<対応方法を考えてみよう>
・このようなケアを知見ましたら、どうしますか？

フェーズ５　<できることを考えてみよう>
・そのような対応にならないためにできることを考えてみましょう。
・実現可能性の有無は考えません。
・出た意見はすべて付箋に記載する。

フェーズ６　<実現する方法を考えてみよう>
・「個人で」「チームで」「組織で」対応することに分けてみましょう。

- 事例は、以下の7つを準備してあります。
- 詳細は、本誌P13＜研修担当者及び司会者用教材＞をご覧ください。

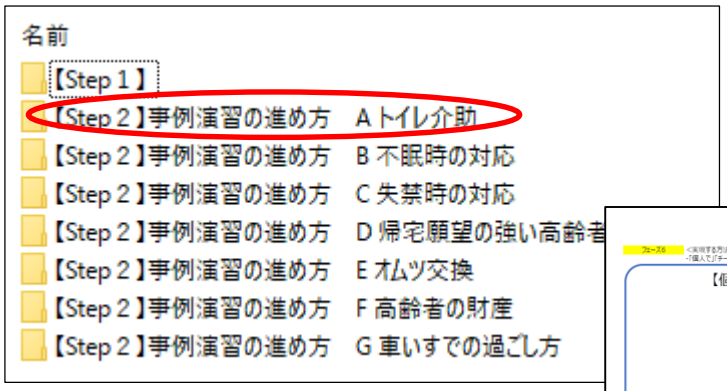
A　トイレ介助
B　不眠時の対応
C　失禁時の対応
D　帰宅願望の強い高齢者の対応
E　オムツ交換
F　高齢者の財産
G　車いすでの過ごし方

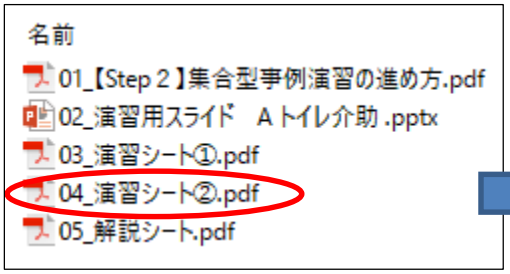
＜学習者配布用資料＞

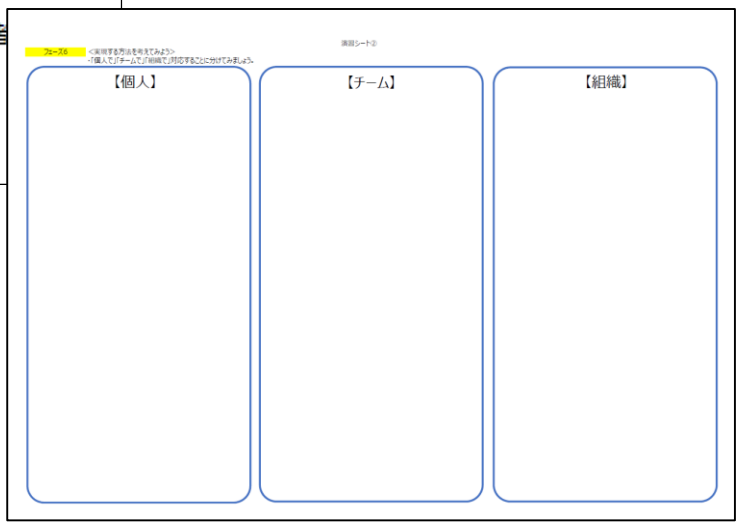
【Step２】演習シート②

- グループワークで使用します。【フェーズ５ 】で作成いただいた付箋を貼付いただく台紙です。
- 各グループに1枚ずつご用意ください。
- 印刷の推奨サイズはA３です。A４に印刷される場合は、2枚に印刷してください。

研修担当及び司会者用資料はこちら＞







＜学習者配布用資料＞

【Step２】演習シート②：【Step２】研修終了後配布

- 各テーマ毎に、虐待の種類とまとめについて記載してあります。
- 研修したテーマのシートを印刷し、研修終了後に学習者へ配布してください。

研修担当及び司会者用資料はこちら＞

名前

- 【Step１】
- 【Step２】事例演習の進め方　Ａトイレ介助
- 【Step２】事例演習の進め方　Ｂ不眠時の対応
- 【Step２】事例演習の進め方　Ｃ失禁時の対応
- 【Step２】事例演習の進め方　Ｄ帰宅願望の強い高齢者の対応
- 【Step２】事例演習の進め方　Ｅオムツ交換
- 【Step２】事例演習の進め方　Ｆ高齢者の財産
- 【Step２】事例演習の進め方　Ｇ車いすでの過ごし方

名前

- 01_【Step２】集合型事例演習の進め方.pdf
- 02_演習用スライド　Ａトイレ介助 .pptx
- 03_演習シート①.pdf
- 04_演習シート②.pdf
- 05_解説シート.pdf

解説シート　　－A.トイレ介助－

この事例の行為について

・代わりの方法を考えずに高齢者を乱暴に扱う行為は、身体に外傷が生じまたは生じるおそれがあると考えられることから、**身体的虐待と判断**されます。
・また、「痛いと訴えているにも関わらず、無視して一方的な介護を続けることは、高齢者を否定する態度ともとらえられるため、**心理的虐待が考えられます。**

防止のためのポイント

＜個人でできること＞
●自分のケアを振り返ってみましょう
◆アセスメントを丁寧に行う（根拠あるケアを提供するために）
・立ち上がれない理由について、ADLの状況や痛みの程度、食事の摂取状況、疲労感等、多方面から、**詳細にアセスメント**する
（言葉だけではなく、表情や反応等からもくみ取ろうとする姿勢をもつ）
◆一人で介助できなかった場合の**代替方法を検討**しておく
◆自分本位（“ME”高齢者本位）になっていないか考える
・職員側の都合が優先されていないか
・一斉介護・流れ作業を見直し、個別ケアを実施しているか
◆悩んだときは一人で判断せず、周囲に相談する
●気になる言動を見かけた際には同僚や上司に相談・報告しましょう
＜チームでできること＞
●高齢者の情報を共有し、対策を統一しましょう
・情報共有・意見交換の機会を設ける ＝ケアプランの見直し
・高齢者の心情までチーム全体で検討・推察する
・例えば、立ち上がれない理由を考える上で必要な身体的情報や心理的情報、立たせるための技術的情報等、必要な情報を多職種で共有し、対策を検討する
●相談しやすい雰囲気、風通しの良いチームを作りましょう
・虐待につながる可能性のある気になる言動を放置しない職員間の関係を作る
＝日頃から、お互い「声を掛け合う」、対応に困ったら相談する等
・良好なチームワークを保つため、なんでも相談できる安心感（心理的安全性）を確保する
＜組織でできること＞
●素早く対応できる体制を作りましょう
・不適切なケアや高齢者虐待に気付くための取り組みを考える
・情報が共有される仕組みを構築する
・対策を検討する組織（虐待防止委員会等）、役割を明確にする
●虐待防止のために普段から取り組みましょう
・高齢者虐待防止に関する学習の機会を定期的に設ける
・他にも、ケア技術や認知症ケア等のケアの質の向上のための学習機会、メンタルヘルスの視点での職員面談の実施等、組織運営・業務管理に係る部分の取組みも重要
・虐待防止委員会等、管理者を含めた検討の場で、組織的取組みについて定期的に検討できる仕組みを設ける
・高齢者の理解とそれに基づいた適切なケアの提供や環境について学習することで高齢者虐待が起きない環境を作る

研修担当及び司会者用資料

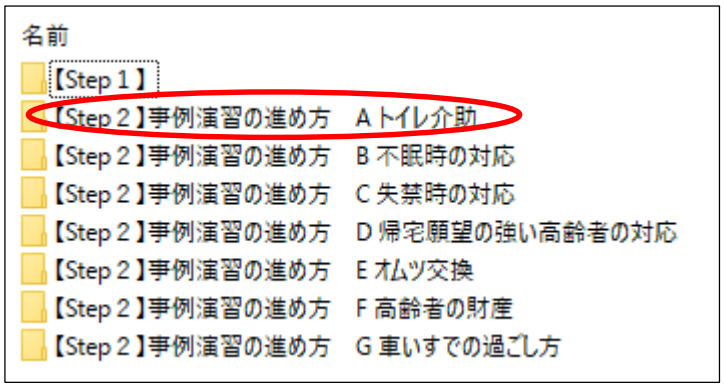
演習用資料【Step 2 】

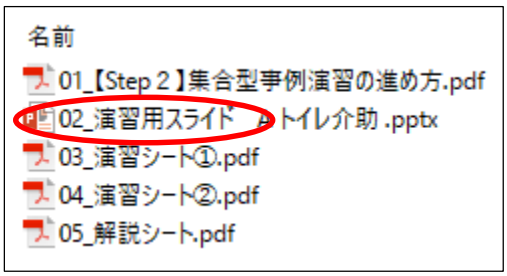
＜演習時投影用資料＞

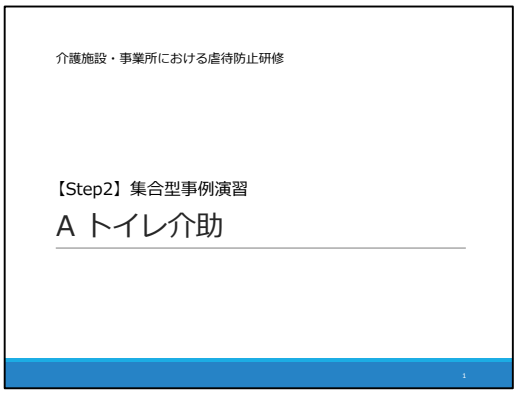
【Step２】演習用スライド

- 施設・事業所における集合型事例演習資料です。
- 演習の進め方は、「【Step２】集合型事例演習の進め方」に記載してあります。ご活用ください。

研修担当及び司会者用資料はこちら＞







- 1回の演習で、7つのテーマから1つを選択し、実施してください。テーマと内容は、次ページに記載しています。
- 複数のテーマを準備しておりますので、施設・事業所の状況に合わせ、取り組みたいテーマを実施してください。
- 演習の進め方は、「【Step２】集合型事例演習の進め方」に記載してあります。ご活用ください。

＜演習時投影用資料＞

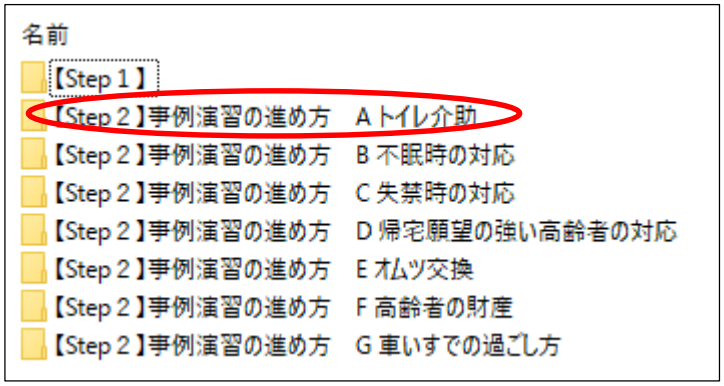
No	テーマ	内容
A	トイレ介助	トイレ介助中にうまく立ち上がれない高齢者への対応場面での虐待事例（身体的虐待、心理的虐待等）
B	不眠時の対応	入眠薬を内服しても眠れない高齢者への対応場面での虐待事例（身体的虐待、心理的虐待、身体拘束、法律違反等）
C	失禁時の対応	デイルームにて失禁した場合の対応場面での虐待事例（介護・世話の放棄・放任、心理的虐待、性的虐待等）
D	帰宅願望の強い高齢者の対応	帰宅願望が強くすぐに帰ろうとする高齢者への対応場面での虐待事例（身体的虐待、介護・世話の放棄・放任、心理的虐待、身体拘束等）
E	オムツ交換	多床室でオムツ交換中に面会者が着た場面での虐待事例（心理的虐待、性的虐待等）
F	高齢者の財産管理	高齢者の私物を管理している場合の虐待事例（心理的虐待、経済的虐待等）
G	車いすでの過ごし方	車いすに上手に座れない高齢者への対応場面での虐待事例（身体的虐待、介護・世話の放棄・放任、心理的虐待、身体拘束等）

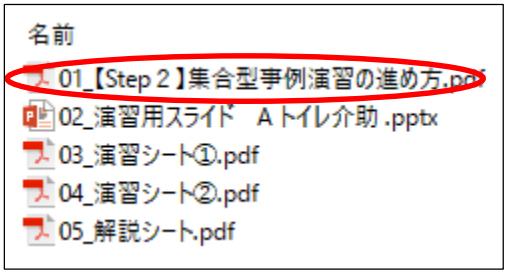
＜演習時参考資料＞

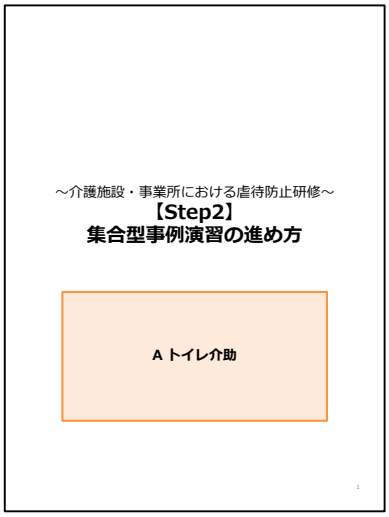
【Step2】集合型事例演習の進め方

- 各事例の研修内容について、記載した資料です。
- 研修を実施するテーマを印刷し、ご使用ください。
- 研修の進め方や研修の所要時間、基本の原稿、解説いただきたい内容等を事例ごとに記載してあります。

研修担当及び司会者用資料はこちら＞







学習者用教材

学習者用視聴動画【Step 1 】

＜学習者用視聴教材＞

【Step１】学習者用視聴動画【A】【B】

- 高齢者虐待防止に関する基礎知識の習得、確認を目的とした動画を学習者に視聴していただき、個人学習を進めていただきます。動画のテーマは次ページに示してあります。

《視聴動画の選択》

- 施設・事業所で、視聴する動画を決めて下さい。
- 視聴する動画は、2パターン用意してあります。
- No.１～５とNo.１８は全員視聴して下さい。
- No.６～１７は、**【A】または【B】のどちらかを選んで視聴して下さい。** 以下の情報を参考に視聴動画を選択して下さい。

【A】	【B】
• 一つの虐待類型に該当する事例 • 新人職員や高齢者虐待についての学びが浅い学習者向け • 虐待防止研修をあまり実施していない施設を想定 • 事例の内容を以下に示す	• 複数の虐待類型にかかる事例 • ベテラン職員や高齢者虐待について既に学んだことのある学習者向け • 虐待防止研修や虐待事例の共有等を行っている施設を想定 • 事例の内容を以下に示す
６．身体的虐待（１） トイレ移乗時の介助	12．身体的虐待（１） ひとり歩きする高齢者への対応
７．身体的虐待（２） 便秘を訴える高齢者への下剤の投	13．身体的虐待（２） 不眠を訴え落ち着かない高齢者への睡眠薬の投与
８．介護・世話の放棄・放任 繰り返しの呼び出しへの対応	14．介護・世話の放棄・放任 高齢者を虐待する職員へのリーダーの対応
９．心理的虐待 食事中の言葉かけ	15．心理的虐待 ひとり歩きする高齢者への対応
10．性的虐待 オムツ交換が頻回な高齢者のズボン着用	16．性的虐待 オムツ交換中にカーテンを開け話しかける言動
11．経済的虐待 高齢者の私物の取り扱い	17．経済的虐待 寄付のお願い

- 1回の研修期間に12テーマ（12本）の動画をご視聴ください。

＜学習者用視聴教材＞

《動画視聴順》

１．テーマNo.１～５を順番に視聴後、
２．【A】または【B】のどちらかを選んで順番通りに視聴して下さい。
３．最後にNo.１８を視聴して終了です。

《視聴期間》

- 視聴動画を決定後、視聴期間（２～３週間程度）を設定し、学習を開始してください。
- 可能な限り、休日等の時間を使わず受講（視聴）できるよう1動画の時間を短く作成しています。1勤務1動画の視聴と考え、視聴期間を設定しております。

《資料》

- 視聴の際は、**【Step１】「学習者用資料」**をご活用ください。資料のダウンロードにつきましては、本資料７ページをご参照下さい。
- **テーマごとに確認テスト**を用意してあります。１動画視聴が済みましたら、視聴したテーマの確認テストを実施してください。確認テストのダウンロードにつきましては、本資料８ページをご参照下さい。
- 視聴動画については、各学習者自身でウェブサイトへアクセスし、視聴することが可能です。
- 確認テストの巻頭には、【A】【B】それぞれの受講パターンの受講確認表を付けております。適宜ご活用ください。
- 動画の視聴と確認テストが終了したら、【Step２】を実施して下さい。

＜学習者用視聴教材＞

《動画テーマと視聴時間》

No	テーマ	視聴時間
1	虐待とは？	10分27秒
2	高齢者虐待防止法	8分8秒
3	養介護施設・養介護事業における高齢者虐待の防止・対策	8分6秒
4	身体拘束	10分24秒
5	早期発見と通報義務	5分48秒

No	テーマ 【A】	視聴時間	No	テーマ 【B】	視聴時間
6	身体的虐待（１）	3分48秒	12	身体的虐待（１）	6分37秒
7	身体的虐待（２）	7分48秒	13	身体的虐待（２）	7分30秒
8	介護･世話の放棄放任	4分40秒	14	介護･世話の放棄放任	5分8秒
9	心理的虐待	6分5秒	15	心理的虐待	7分43秒
10	性的虐待	4分44秒	16	性的虐待	5分36秒
11	経済的虐待	4分1秒	17	経済的虐待	5分19秒

No	テーマ	視聴時間
18	ストレスケア	10分8秒

- 1本当たりの視聴時間は、約4分~10分半です。
- 施設・事業所の状況に合わせ、ご視聴ください。
- 動画視聴の場所は、次のページをご参照ください。

＜学習者用視聴教材＞

【Step１】学習者用視聴動画【A】【B】

- 学習者用視聴動画は、以下の格納先より、視聴してください。

2020年

厚生労働省
令和２年度老人保健健康増進等補助金による助成事業

介護施設における効果的な
虐待防止研修に関する調査研究事業

令和３年３月

ＭＳ＆ＡＤインターリスク総研 株式会社

令和2年度　厚労省老人保健健康等増進事業
介護施設における効果的な虐待防止研修に関する調査研究

報告書ダウンロード（3.7MB）

虐待防止研修担当の方はこちらを
最初にご確認ください

ダウンロード（1.5MB）

研修担当及び司会者用資料はこちら＞

学習者用資料

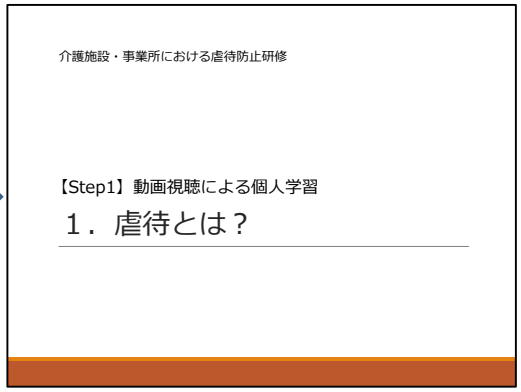
学習者用視聴動画【A】はこちら＞

学習者用視聴動画【B】はこちら＞

学習者用視聴動画【A】

視聴する動画を選択してください。
学習の際は、「学習者用資料」を参照しながら視聴を行ってください。

介護施設・事業所における虐待防止研修Step1【A】

01.虐待とは？（10分27秒）
02.高齢者虐待防止法（8分8秒）
03.養介護施設養介護事業における高齢者虐待の防止対策（8分6秒）
04.身体拘束（10分24秒）
05.早期発見と通報義務（5分48秒）
06.身体的虐待（1）（3分48秒）
07.身体的虐待（2）（7分48秒）
08.介護・世話の放棄・放任（4分40秒）
09.心理的虐待（6分5秒）
10.性的虐待（4分44秒）
11.経済的虐待（4分1秒）
18.ストレスケア（10分8秒）

※使用する機器や環境によって、動画の再生に時間を要する可能性があります。